

概要・工法・効果

■ ステンレス鋼採用（SUS316A）の効果

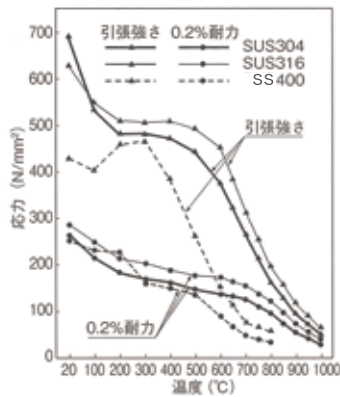
- ① 建築鉄骨構造材として、建築構造用ステンレス鋼材（JIS G4321）を使用。
- ② 高温強度特性の優れたステンレス鋼を採用し、高温域での耐力を確保。
- ③ 高耐食性によるメンテナンスフリー。

■ 環状第二号線新橋・虎ノ門地区第二種市街地再開発事業Ⅲ街区



災害自家発電設備の屋上排気口鉄骨
(陣笠鉄骨)

耐熱性（高温強度特性）・高耐食性を有する
ステンレス鋼 SUS316A を採用



災害時、自家発電設備稼働時の雰囲気温度（約 600°C）に対し、SUS304A よりも耐熱性（高温強度特性）及び、耐食性の優れた SUS316A を採用する。



【陣笠鉄骨主要部材】

- 柱) SUS316A BH-200×200×8/12
- 梁) SUS316A BH-200×200×8/12
- ブレース) SUS316A L-75×75×9 計 6.1 トン



事例紹介

実績	発注者	設計者	施設名	主要材質	主要形状 / サイズ	重量 / トン